

# 調査団報告書

No.95

## 調査内容

東山動物園のアフリカゾウのケニーはどこからきたの？

## 調査手順

ケニーは2020年8月10日に永眠しました。推定年齢47歳、原因は腹膜炎だったのではということです。東山動物園ではたった1頭のアフリカゾウでした。動物園では8月末まで献花台をもうけ、別れを惜しみました。

ケニーはいつ、どこから東山にやってきたのか、当時の新聞記事などでふりかえりました。

## 調査結果

ケニーが東山動物園に来たのは、1975年（昭和50年）11月10日。その前月21日にケニアのモンパサ港から名古屋港に入港しました。推定年齢は2歳半。当時の写真を見ると、飼育員さんよりも背が低くて、かわいらしい子ゾウです。来園当時は体高約1.4メートル、体重約500キロ（400キロとも）。アフリカゾウ舎に迎え入れられ、前からいたアフリカゾウ夫婦の家族となりました。名前を公募したところ3458件の応募があり、その中から“ケニー”と名付けられました。東山動物園では、11月10日をケニーの来園記念日としてお祝いし、その様子はブログでも見ることができます。晩年は体長約4.6メートル、体重推定4トンありました。

東山動物園では、ゾウが退屈しないよう、ごはんをあげる時、袋に入れたり、木をくりぬいて中に入れたりして、探す楽しみを色々考えました。エンリッチメントといって、動物を退屈させない工夫のことだそうです。この取り組みで、東山動物園は2008年にエンリッチメント大賞を受賞しています。

優しい性格で、動物園の人気者だったケニー。8月に放送されたNHKラジオ第一の「子ども科学電話相談」では、動物担当の先生がケニーのことについて（動物園の象の関係者には、日本中の象の情報がすぐ伝わるそう）、心温まる回答をしてくれました。そのやりとりをホームページで見ることができます。

## 今回の調査で使った資料

「中日新聞」1975年11月12日朝刊12面、11月22日朝刊9面、12月18日夕刊12面  
『東山動物園動物ガイドブック』名古屋市東山動物園／監修 名古屋市東山動植物園 2012  
『東山動植物園とともに歩んだ60年 東山公園協会設立60周年』東山公園協会 2009  
『ず〜っといっしょ 東山動物園公認ガイドブック』東山動物園くらぶ／編 中日新聞社 2012  
『ZOOっといっしょ 2 東山動植物園公認ガイドブック』東山動物園くらぶ／編 中日新聞社 2017  
『あまりに細かすぎる東山動植物園ガイド 東山動植物園公認』びあ株式会社中部支社 2020  
NHK 子ども科学電話相談 2020年8月23日放送「動物園で死んだゾウ。そのあと、どうするの？」  
[https://www.nhk.or.jp/radio/kodomoqmagazine/detail/20200823\\_01.html](https://www.nhk.or.jp/radio/kodomoqmagazine/detail/20200823_01.html)（2020年9月17日確認）

